

工事説明書 脱衣所暖房衣類乾燥機

品番 FY-13SWL5 FY-13SWYL5-W

工事説明書をよくお読みの上、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害を生じたときは、当社では責任を負いません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
 ■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

- 警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
- 注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
- してはいけない内容です。
- 実行しなければならない内容です。

警告

- 浴室に内釜式風呂を設置している場合は、取り付けしない(排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因)
- 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置はおこなわない(発火の原因)
- 絶対に分解や修理、改造はしない(火災・感電・けがの原因)
- 浴室内に取り付けしない(脱衣所・洗面所の壁に取り付け専用機器です(感電・火災の原因))

- 工事とは、この工事説明書および「電気設備技術基準」「建築基準法」「各都市の条例」に従って確実にこなす(水漏れや感電、火災の原因)
- メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの本造造物に取り付ける場合、取付板取り付け用ねじがメタルラス、ワイヤラス、金属板と電気的に接触しないように取り付け(感電や火災の原因)
- 配線工事、電源接続工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「電気工士」が確実にこなす(感電や火災の原因)
- アース工事は電気設備技術基準に関連する法令・規程などに従って必ず「電気工士」によるD種(第三種)接地工事をこない、専用の漏電ブレーカーを設置する(感電や火災の原因)
- 専用の漏電ブレーカーは、過電流保護兼用で定格電流20A、高感度高速形(定格感度電流15mA・動作時間0.1秒以下のものを選んでください。(感電や火災の原因))
- 電源電線は確実に固定する(濡れによる摩擦で接触が破れた場合、感電や火災の原因)
- 電源電線の接続は確実にこなす(火災の原因)
- 必ずAC100Vで使用する(感電や火災の原因)
- 衣類吊り下げ用パイプは、本体から150mm離し、下側に115mm離す(製品に近づすぎると、衣類の染色や火災の原因)

注意

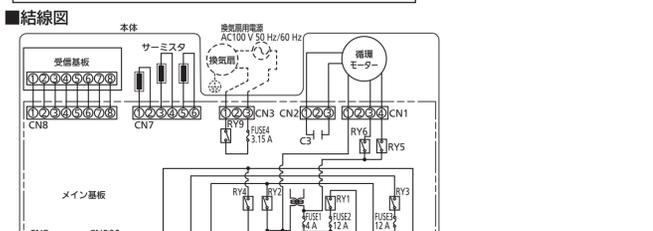
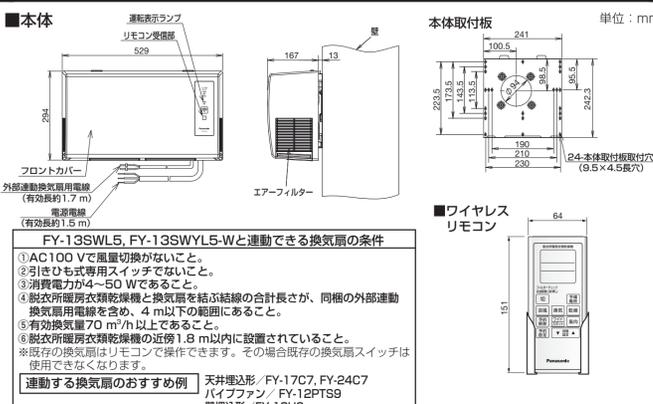
- ファンやヒーターに触れたり、指や棒を入れない(けが・やけどの原因)
- 部品の取り付けは確実にこなす
- 取り付け作業時には必ず手袋をはめて作業する
- 本体は指定の方法で確実に取り付ける
- 本体は、十分強度のあるところにしっかりと取り付け、強度不足の場合には補強する(けがの原因)

お願い

- 内装工事(クロス貼り)が完了していないと取り付けできません。
- 製品本体は傾かないよう(水平)に設置してください。(ヒーターの寿命を縮めたり、故障の原因)
- 脱衣所の広さは、以下をゆすとしてください。1.5坪(内1.6m×2.4m)まで、1.5坪を超える脱衣所および、下記①～④の脱衣所では、室温がほとんど上昇しないことがあります。①窓が大きいとき ②脱衣所の容積が大きいとき ③タイル貼りの面積が大きいとき ④その他、脱衣所の密閉性や断熱性が悪いときなど
- ベンジン・シンナーなどの有機溶剤を使う場所に取り付けしないでください。
- 製品の取り付けには下記のような規制を受けますのでご確認ください。地域によっては、火災予防条例にもとづく指導が異なる場合がありますので、所轄の監督官庁にてご確認ください。
- この脱衣所暖房衣類乾燥機の質量は7.4kgあります。
- 一般家庭の脱衣所に取り付けてください。
- 油煙の発生する場所に取り付けしないでください。
- スプレーが直接かかる場所に取り付けしないでください。
- 温泉など腐食性のガスが発生する場所に取り付けしないでください。
- 高温になる場所(周囲温度40℃以上)に取り付けしないでください。
- 本体は、テレビ、ラジオ、無線機およびそのアンテナ線から0.5m以上離して施工してください。
- 工事の際には、製品本体内部へ石膏ボードの粉などの侵入がないようご注意ください。
- 樹脂製部品取り付けの際は、ねじを締めすぎると製品を破損させないよう、締付トルクに十分注意してください。
- 効果的な換気のため、給気口を必ず設置してください。
- 本体、ワイヤレスリモコンは直射日光や蛍光灯の近くなどの強い光が当たる場所に設置しないでください。
- 衣類吊り下げ用パイプを購入されるときは必ず1本当たり5kg以上の重量に耐える不燃性と耐腐食性の品物を選んで取り付けてください。
- 衣類吊り下げ用パイプの取り付け位置は、必ず推奨位置で取り付けてください。(推奨位置以外で取り付けますと、乾燥時間が長くなります)



各部の名称と寸法



■保証書.....1 (FY-13SWYL5-Wのみ。FY-13SWL5は取扱説明書の最終ページに付属)(必ずお客様にお渡しください)

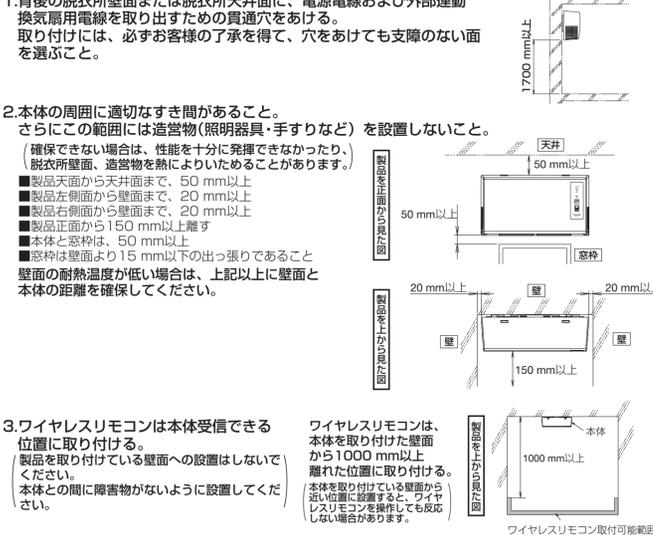
- 付属品 末尾の数字は数量をあらわします。
- タッピンねじ(φ4×50)6 棒端子.....2
 - タッピンねじ(φ4×16 黒)2 アルミテープ.....3
 - タッピンねじ(φ4×16)2 取扱説明書.....1
 - 差込形コネクタ.....5 工事説明書.....1
 - キャップ.....5 乾電池(単4形).....2

■現場で用意してください。

漏電ブレーカー	過電流保護兼用で定格電流20A、高感度高速形(定格電流15mA・動作時間0.1秒以下)		
電源電線	VVFケーブルφ1.6またはφ2	適宜	
アース線	鋼線直径φ1.6以上(または断面積が2mm ² 以上)	適宜	アース工用
アース棒	D種(第三種)接地工用	適宜	
防水ジョイントボックス	WJ4100(パナソニック(株)製)相当品(外壁で電線を接続する場合)	1個	電源接続用
ジョイントボックス	WJ3107(パナソニック(株)製)相当品(天井裏で電線を接続する場合)	1個	
衣類吊り下げ用パイプ	耐荷重5kg以上 ステンレス製などのさびにくいもの	適宜	衣類乾燥用
合成樹脂管	内径φ40以上の塩ビ管など	適宜	電源取出用
ケーブル用モール	(天井裏で電線を接続する場合)	適宜	
アンカープラグ	ボードファスナー(サンコーテック製)下表相当品	適宜	本体取付板固定用(中空構造壁の場合)
	BS TYPE BS-40S BS-409 BS-416		
	適用厚 1~5mm 3~9mm 10~16mm		
シリコンコーキング材・パテなど		適宜	コーキング用
ロングドライバー			循環部分取り付け用

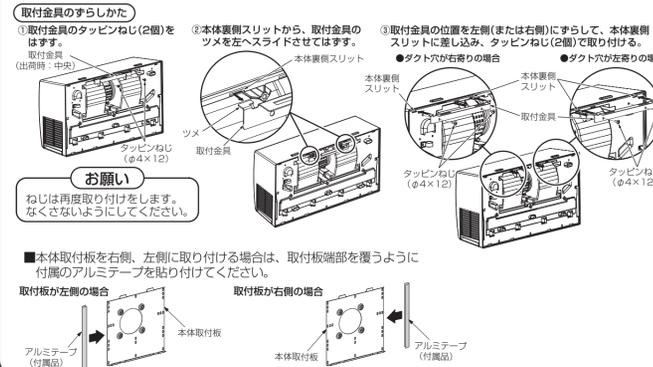
1 設置位置の決定

- 背後の脱衣所壁面または脱衣所天井面に、電源電線および外部運動換気扇用電線を取り出すための貫通穴をあける。取り付けには、必ずお客様の了承を得て、穴をあけても支障のない面を選ぶこと。
- 本体の周囲に適切なすき間があること。さらにこの範囲には造造物(照明器具・手すりなど)を設置しないこと。(確保できない場合は、性能十分に発揮できなかつたり、脱衣所壁面、造造物を熱によりいためることがあります)
 - 製品天面から天井面まで、50mm以上
 - 製品左側面から壁面まで、20mm以上
 - 製品右側面から壁面まで、20mm以上
 - 製品正面から150mm以上離す
 - 本体と窓枠は、50mm以上
 - 窓枠は壁面より15mm以下の出っ張りであること
 壁面の耐熱温度が低い場合は、上記以上に壁面と本体の距離を確保してください。
- ワイヤレスリモコンは本体受信できる位置に取り付ける。製品を取り付けている壁面から1000mm以上離れた位置に取り付ける。本体を取り付けている壁面から近い位置に設置すると、ワイヤレスリモコンを操作しても反応しない場合があります。



2 本体取付板の設置

- 本説明書裏面の型紙を水平に壁にあて、本体取付板ねじ穴位置(6か所)の印を壁に付ける。
- 下穴をあける前には、本体取付板を印を付けた穴位置に合わせ、水準器を使用して水平度を再度確認する。
- 本体取付板ねじ穴位置に下穴をあける。
 - 脱衣所の内・外壁の現状確認をおこない、タイル・壁等が損傷している場合には、お客様に説明し、了解を得ておくと、事前に補修をおこなっておいでください。
 - 下穴は、壁面の材質に合わせてあけてください。
- 本体取付板を脱衣所の壁にタッピンねじ(6個)で取り付ける。
 - この製品は7.0kgあります。本体取付板は堅固に、また確実に脱衣所の壁に密着するように取り付けてください。
 - 特に、中空構造壁の場合、市販のアンカープラグ(サンコーテック(株)製ボードファスナー BS TYPE)などを使用して、確実に取り付けてください。
 - 水準器などで水平を確かめてから取り付けてください。
 - 必要に応じて本体の取付金具をすずして、本体取付板を右側または左側に取り付けることができます。

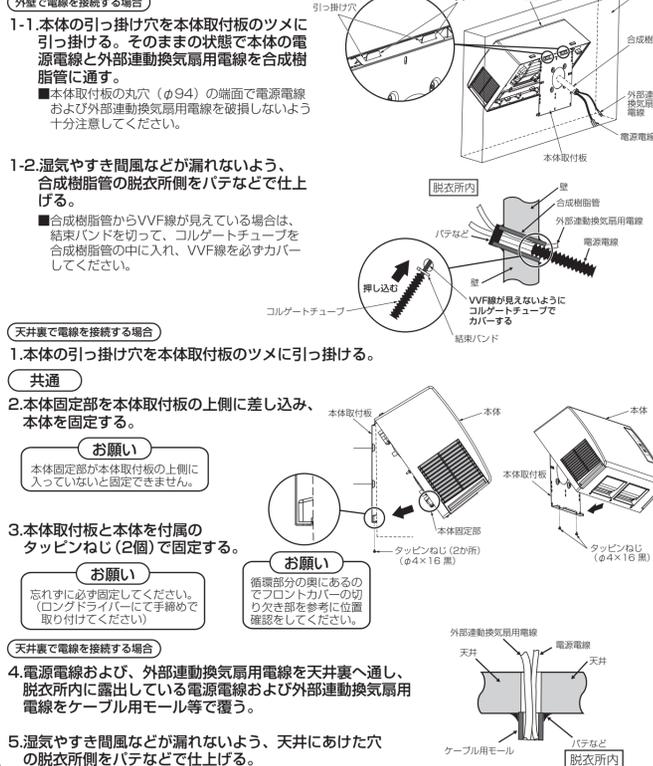


3 電線取出穴をあける

- 外壁で電線を接続する場合
 - 本体取付板の丸穴(φ94)内の適当な位置に電線取出穴をあける。
 - 電線取出穴は壁裏センサーを用いるなどして、壁裏の間柱、筋かいなどを回避してください。
 - 電線取出穴の穴径は、使用する合成樹脂管(内径φ40以上)の外径に合わせてください。
 - 屋外から水の浸入防止のため、電線取出穴に右図のように勾配をつけてください。
- 天井裏で電線を接続する場合
 - 天井面の壁面に近い適当な位置に電線取出穴をあける。
 - 電線取出穴の穴径は、φ40であけてください。

4 本体の取り付け

- 外壁で電線を接続する場合
 - 本体の引っ掛け穴を本体取付板のツメに引っ掛ける。そのままの状態では電源電線と外部運動換気扇用電線を合成樹脂管に通す。
 - 本体取付板の丸穴(φ94)の端面で電源電線および外部運動換気扇用電線を破損しないよう十分注意してください。
 - 湿気やすき間風などが漏れないよう、合成樹脂管の脱衣所側をパテなどで仕上げる。
 - 合成樹脂管からVVF線が見えている場合は、結束バンドを切って、コルゲートチューブを合成樹脂管の中に入れ、VVF線を必ずカバーしてください。
- 天井裏で電線を接続する場合
 - 天井の引っ掛け穴を本体取付板のツメに引っ掛ける。
 - 天井裏で電線を接続する場合、本体固定部を本体取付板の上側に差し込み、本体を固定する。
 - 本体取付板と本体を付属のタッピンねじ(2個)で固定する。
 - 忘れずにお読みください。(ロングドライバーにて手締めで取り付けてください)
- 天井裏で電線を接続する場合
 - 電源電線および、外部運動換気扇用電線を天井裏へ通し、脱衣所内に露出している電源電線および外部運動換気扇用電線をケーブル用モール等で覆う。
 - 湿気やすき間風などが漏れないよう、天井にかけた穴の脱衣所側をパテなどで仕上げる。



5 電源の接続

- 電源の接続
 - 電源電線(アース線含む)および外部運動換気扇用電線を付属の差込形コネクタを使い、右下の結線図に従って結線する。
 - 差込形コネクタに付属のキャップを奥までかぶせる。(5か所)
 - 外部運動換気扇用電線は途中で切断しないでください。
 - 電源電線の接続は必ず分電盤の専用ブレーカーに接続してください。
 - 電源電線のアース線(緑)は必ず接続してください。[D種設置工事(旧第3種設置工事)]
 - 現場配線電線はVVFケーブルφ1.6またはφ2を使用してください。細い線の電源電線を使用すると、発熱により発火のおそれがあります。
 - 外部運動換気扇用電線は途中で切断しないでください。
 - 換気扇のアース線は絶対にはずさないでください。
 - プラグは使用しないでください。
 - 電源は必ずAC100Vを使用し、各電源電線先端の端子は付属の差込形コネクタの奥まで確実に挿入してください。間違った電源を使用したり十分な配線をする、火災や故障の原因となります。
 - 換気扇用壁スイッチは使用できなくなりますので、スイッチカバー等でふさいでください。
 - 電源電線はバンドなどで束ねて収納しないでください。発熱により発火のおそれがあります。



6 ワイヤレスリモコンの取り付け

- 取り付け位置を決定する。
 - ワイヤレスリモコンには約300mmのチェーンが付いています。(取り付け位置はお客様とご相談のうえ決定してください)
 - リモコン受信部に向けて無理なく操作できる位置に設置してください。
 - 取り付けの高さは周辺の高さより650mm以上高くしてください。
 - ワイヤレスリモコンは、本体を取り付けている側の壁面から1000mm以上離れた位置に取り付けてください。
 - 本体を取り付けている側の壁面から近い位置に設置すると、ワイヤレスリモコンで操作しても反応しない場合があります。
 - ワイヤレスリモコンと本体のリモコン受信部との間に造造物がないように取り付けてください。
- リモコンホルダーを付属のタッピンねじ(2個)で固定する。
 - 取り付け位置が石膏ボードやタイルなどの場合、なごり付かないことがありますが、その際は市販のアンカープラグを使用してください。
- ワイヤレスリモコンに電池を入れる。
 - 電池ふたを開閉するときはメタルなどを使用しないでください。ドライバーを使用するとロックが破損する可能性があります。
 - 電池ふたのロックは表示されているマークの範囲位置を超えないように回してください。
 - 電池ふたを閉めるときは、電池ふたのゴムに髪の手やホコリなど異物を挟み込まないように注意し、確実に閉めてください。異物が付着した場合は、柔らかい布でふき取ってください。

7 衣類吊り下げ用パイプの取り付け

- 衣類吊り下げ用パイプ(市販品)を取り付ける。
 - 衣類吊り下げ用パイプを挿入されるときは必ず1本当たり5kg以上の重量に耐えるステンレス製などのさびにくい品物を選んで取り付けてください。
 - 衣類吊り下げ用パイプの取り付け位置は、必ず推奨位置で取り付けしてください。(推奨位置以外で取り付けますと、乾燥時間が長くなります)
 - 推奨位置に取り付けできない場合は、取り付け範囲の位置へ取り付けしてください。(ただし、乾燥時間が長くなります)

8 試運転

取扱説明書の「使いかた」のページを参照し、試運転をおこない異常がないか確認する。異常については内容、処置については取扱説明書の「故障かな!」のページを参照する。

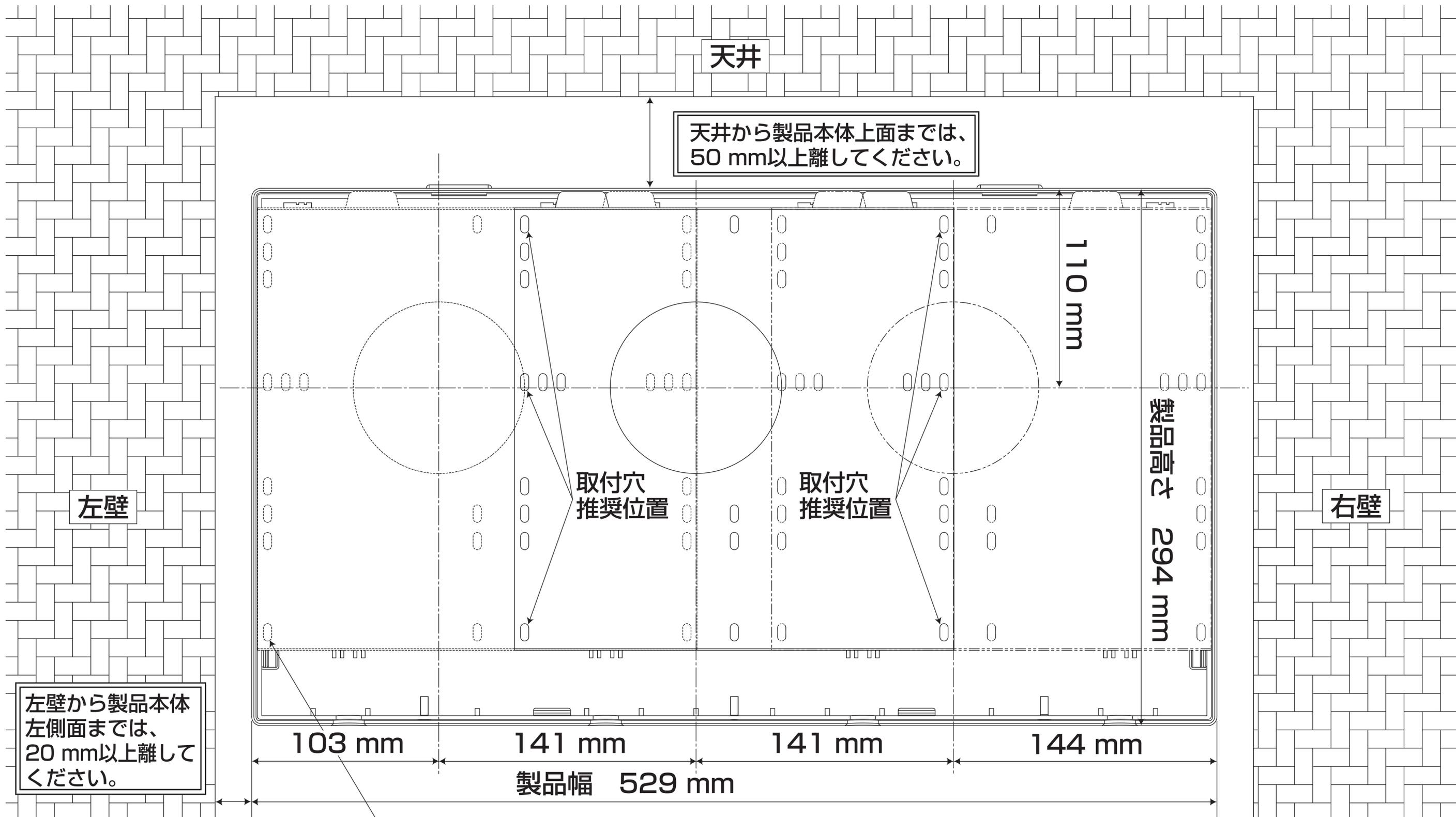
9 確認事項のチェック

右記の確認表に従い、確実に施工したかを再度確認してください。施工できていれば✓チェックを記入してください。	チェック内容	チェック欄
	設置場所は脱衣所・洗面所ですか？(浴室内には絶対に取り付けしないでください)	
	製品はしっかりと取り付いていますか？	
	製品と壁面および造造物の間に適切なすき間がありますか？	
	衣類吊り下げ用パイプの取り付け位置は正しいですか？	
	異常音はありませんか？	
	電源電線・アース線の接続は確実ですか？	
	電源はAC100Vに接続されていますか？(単相200Vに接続されると故障します)	

※チェックが終了したら工事説明書(本書)、取扱説明書、保証書、所有者セットをお客様へお渡しください。(保証書はFY-13SWYL5-Wのみ。FY-13SWL5の保証書は取扱説明書の最終ページにあります)

取付用型紙

工事の際、壁面に貼り付けてご使用ください。（脱衣所内から見た図になっています）
 なお、この型紙の寸法は湿気などにより変化しますので、寸法を確かめてご使用ください。



左壁から製品本体左側面までは、20 mm以上離してください。

天井から製品本体上面までは、50 mm以上離してください。

右壁から製品本体右側面までは、20 mm以上離してください。

本体取付板位置
 ——— 実線：中央の場合
 - - - 破線：左側の場合
 - · - · 2点鎖線：右側の場合
本体取付板ねじ穴位置
 (24か所から6か所選択して固定する。)
 (24 places, choose 6 places to fix.)